

4 新施設の計画概要

適地選定結果を踏まえ、整備計画地を緑が丘公園北側農地とするとともに、検討資料を元に、下記の通り計画条件を設定しました。

項目	計画概要
計画地及び面積	地番：朝日町大字四ノ沢字大道下 1015 ほか 面積：46,369 m ²
生徒数（開校時）	258人
学級数（開校時）	14 学級（普通学級9学級、特別支援学級5学級）
開校時期	令和 10 年（2028 年）4 月
総事業費（概算）	60 億円（税込み）を上限とする。 総事業費には用地費、造成費、インフラ整備費、建築工事費、設計費、備品購入費、引っ越し費用等を見込む。解体費については統合対象校1校分を含む。
整備予定施設 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	<p>【屋内施設：想定延床面積 約 9,200 m²】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎：RC2階建て 武道場：柔道場、剣道場各 1 面ずつ 給食調理室：最大調理食数 300 食 放課後児童クラブ（校舎併設） 屋内運動場（大）：バスケットボールコート 2 面、ステージほか 屋内運動場（小）：バスケットボールコート 1 面、ステージなし <p>【屋外施設・駐車場等：総面積 約 13,355 m²】</p> <ul style="list-style-type: none"> グラウンド：300mトラック、直線 100m テニスコート：2 面分 用具庫：体育用具、部活動用具 一般車駐車場：150 台 スクールバス車庫：7 台分 その他（遊び場、駐輪場等）
その他 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	<p>・教科教室制の採用（5年生～9年生） ※教科教室制とは、すべての教科に専用の教科教室を設け、生徒が毎時間教室移動を行いながら、授業を受ける仕組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館、体育館の地域開放（町立図書館、町民体育館機能を兼備） 音楽室、図工室、家庭科室の地域開放 給食は自校給食方式を想定 <p>※プールは既存の町民プールを、野球場は緑が丘公園を利用することとし新規整備しない。また、夜間照明も設置しない。</p>

5 新施設の概算事業費

概算事業費については、下記の金額を見込んでいます。

	項目1		金額
	建築工事	校舎、屋内運動場、バス車庫、用具庫等 (設計費含む)	39億8,000 万円
	外構工事	用地費、造成費、外構工事費等 (設計費含む)	10億4,000 万円
	工事費計		50億2,000 万円
	消費税相当額		5億200 万円
	総計		55億2,200 万円

6 導入機能・必要諸室の設定

基本構想、整備方針を踏まえ、新たな学校に導入する機能、必要諸室等については以下のとおりとします。

導入機能	導入機能の考え方	備考																																																											
普通教室	<p>◆「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」では、小学校（義務教育学校の前期課程を含む）は35人以下、中学校（義務教育学校の後期課程を含む）は40人以下と定められています。計画校では、いずれの学年もこの人数以下となりますので、全学年1学級編成とします。</p> <p>◆また、5～9年生については教科教室制を検討し、主体的に学びに向かう子どもの育成を図ります。</p> <p>◆5～9年生が学級活動のできるホームベースルーム（HBR）を設置し、学級集団への帰属意識や生徒の居場所づくりを行います。</p> <p>◆将来的に1学年2クラス編成とする必要が出た場合は、学習ルームなどの柔軟な活用を検討することとします。</p>	普通教室： 4室 →9室 HBR：5室																																																											
<p>[現在と将来児童数]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="3">R5 中学校生徒数 (123名)</th> <th colspan="4">R5 小学校児童数 (206名)</th> <th colspan="5">今後の入学予定者数</th> </tr> <tr> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>6</th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>54</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>28</td> <td>39</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>15</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>開校時の学年（義務教育学校）→</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="4"></td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: #00A08A;">R10 開校時の想定人数（258名）</p>			学年	R5 中学校生徒数 (123名)			R5 小学校児童数 (206名)				今後の入学予定者数					3	2	1	6	5	4	3	2	1	R6	R7	R8	R9	R10	人数	54	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30	開校時の学年（義務教育学校）→								9	8	7	6	5	4	3	2	1
学年	R5 中学校生徒数 (123名)			R5 小学校児童数 (206名)				今後の入学予定者数																																																					
	3	2	1	6	5	4	3	2	1	R6	R7	R8	R9	R10																																															
人数	54	33	36	43	39	28	39	27	27	30	31	31	15	30																																															
開校時の学年（義務教育学校）→								9	8	7	6	5	4	3	2	1																																													
	<p>◆児童生徒が長い時間過ごす普通教室は、特に採光や眺望等に配慮します。</p> <p>◆情報端末活用のための環境整備や遠隔会議システムの導入等、タブレット学習や遠隔・オンライン教育に適合した教育環境を整備します。</p> <p>◆個別指導やグループ学習等の多様な学習形態、外国語教育の推進等、現在の教育方針に対応できる教育環境を確保します。</p> <p>◆ゆとりを持った普通教室の検討や、廊下と普通教室の一体的利用を検討するとともに、廊下をオープンスペース等として利活用する等、将来的に柔軟な対応ができる計画を検討します。</p>																																																												

導入機能	導入機能の考え方	備考
特別支援教室	<p>◆特別支援教室等は、全職員で見守ることのできるよう職員室や保健室等との連携に配慮します。</p> <p>◆インクルーシブ教育の推進のため、普通教室等との連携に配慮します。</p> <p>※インクルーシブ教育とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みです。</p> <p>◆言語障害に対応した教室とする場合、正しい構音の練習に利用する鏡、練習後の手洗いやうがい等のための設備を教室の周辺部に計画します。</p> <p>◆情緒障害に対応した教室とする場合、心理的な不安定さを考慮して、安心してリラックスできる落ち着いた環境を確保します。</p> <p>◆障がいによる生活上の困難を克服するために必要な教育環境を確保します。</p> <p>◆安心して学校生活を送れるよう、特別支援教室専用のトイレやシャワー室を計画します。</p>	前期3学級、後期2学級
教科教室	<p>◆教科の特性や学年毎の利用頻度を考慮して計画します。</p> <p>◆各特別教室（音楽室、図工・技術室、美術室、家庭科室、理科実験室）には、準備室等を配置します。</p> <p>◆総合的な学習や、個別学習、グループ学習など多様な学習形態に対応するため、学年ブロック毎に多目的に利用できる「学習ルーム」を導入します。</p> <p>これは、将来的に1学年2クラス編成とする必要が出た場合に、普通教室としての活用も想定します。</p> <p>◆町民の利用が想定される音楽室、図工・技術室、美術室、家庭科室、図書室、体育館等は利用者が入りやすいように動線に配慮するとともに、夜間や休日など開放時間に応じたセキュリティ区分ができるように配慮します。</p> <p>◆音楽室は、児童生徒だけでなく町民も様々な活動ができる小ホール（講堂）機能*を持たせます。（プロジェクター・マイク等のAV設備の充実）</p> <p>*小ホール（講堂）機能については、体育館（小）や武道場との兼用も検討する</p> <p>◆図工・技術室、美術室、家庭科室、理科室については、兼用（一つの部屋に複数の機能を持たせること）を検討する。</p>	音楽室 図工・技術室 美術室 理科教室 理科実験室 家庭科室 国語教室 社会科教室 英語教室 数学教室 学習ルーム（3室）

導入機能		導入機能の考え方	備考
共用スペース	児童生徒会室	◆児童生徒が主体となって様々な活動に取り組めるよう、児童生徒会室を設置します。	
	図書室	◆児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成する、学習・情報センターとして整備します。 ◆ICTの活用や情報教育環境を充実させるとともに、できるかぎり児童生徒が本や情報に親しみやすく、利用しやすい位置に計画します。 ◆地域住民利用（学校開放）や町立図書館機能を持たせること、さらには子どもたちがスクールバスの待ち時間を過ごす場所を想定し、児童生徒や地域住民がゆっくりとくつろぎ、ともに学べるような空間を整備します。	図書室 情報センター 町立図書館機能
	屋内運動場	◆体育館は、体育の授業のほか、集会や発表練習、部活動の場など様々な使い方が想定されることを踏まえ、機能を整理しながら大小2つの体育館を整備します。 ◆2つの体育館については、体育の授業、学校開放時の活動に必要な機能・規模をすみわけしながら確保するとともに、避難所としての利用にも配慮し計画します。 ◆避難所として利用することを考慮し、体育館またはその付近に、物資を備蓄できる防災備蓄倉庫を設置します。 ◆地域住民利用（学校開放）や、将来的には町民体育館機能も持たせることを想定し、更衣室や多目的トイレ、簡易的な観客席を整備します。	体育館（大）： バスケットボールコート2面、 ステージ、放送室 体育館（小）： バスケットボールコート1面
	武道場	柔道場1面、剣道場1面 体育館（小）、講堂との兼用を検討します。	
	防災機能	◆避難所となる体育館に「防災備蓄倉庫」を導入します。 ◆大規模災害発生時の電源、生活用水等の確保の観点から、「非常用発電機」、「耐震性貯水槽」を導入します。 ◆避難所となる体育館や武道場については、空調設備の導入を検討します。	防災備蓄倉庫 (体育館に設置) 非常用発電機 耐震性貯水槽
	メモリアルコーナー	◆旧小中学校の歴史や表彰トロフィー、記念品等の展示・保管を行うメモリアルコーナーを設置します。 ◆将来的には、地域の情報を発信することも想定します。	
地域活動推進室	◆スクール・コミュニティを推進するため、地域活動推進室を整備します。専任の事務員を配置し、学校と地域の橋渡し役や施設の貸し出しの業務を担います。夜間や休日は管理人の事務室としても活用します。		

導入機能		導入機能の考え方	備考
	多目的ホール（オープンスペース）	◆個別学習やグループ学習、部活動等での使用を想定し、廊下をオープンスペース等として利活用する等、将来的に柔軟な対応ができる施設を検討します。 ◆異学年との食事交流、食育学習等にも活用します。	前期・中期・後期ブロックごとに3箇所設置
	相談室	◆クールダウンコーナーとしての活用も想定します。	
	児童生徒用更衣室	◆社会の性に対する考え方の多様化や児童の心身の発達段階に応じて、懸念される羞恥心や戸惑いの軽減などを踏まえ、男女別の児童生徒用更衣室を設置します。	男女別で、2箇所（前期、中後期向け）設置
	トイレ	◆バリアフリーの観点から多目的トイレを各階1箇所設置します。	
管理スペース	職員室	◆職員室は、セキュリティに配慮し、登下校する児童生徒や来客等の出入りが見やすいよう配慮します。	教職員約40名
	管理人室	◆ 町民体育館や町立図書館等の機能を持たせることを想定し、管理人室を設置します。	
	保健室	◆保健室は、運動時のけがの対応が迅速に行えるようにできるだけ体育館の近くとし、グラウンドから直接出入りができ、病院への搬送を考慮して救急車がアクセスしやすいよう配慮します。 ◆児童が利用できるシャワーユニットを導入し保健室の充実を図ります。	トイレ、シャワーユニット
その他	給食室	◆学校給食の充実のため、給食室を整備します。	
	放課後児童クラブ	◆児童の預けやすさ等を踏まえ、「放課後児童クラブ」を校内に併設します。 体育館（小）など、校舎の一部を学習の場、遊び場として使用することを想定します。また、放課後子ども教室としての機能もあわせた運営を検討します。	学童スペース

導入機能		導入機能の考え方	備考
屋外施設等	駐車場等	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒が安心して通学でき、スクールバスや自家用車での送迎の際に安全に乗降できるよう、ロータリー等の乗降スペースを設置します。 ◆スクールバス用の車庫を導入するとともに、安全に方向転換できる旋回スペースや動線確保等に配慮します。 	一般車 150 台 スクールバス 7 台 駐輪場
	遊び場、運動施設等	<ul style="list-style-type: none"> • 前期、中期の児童の遊び場 • グラウンド：直線距離 100m、陸上トラック一周 300m、走り幅跳びレーンなど • テニスコート：2面 • 体育用具及び部活用の用具庫 • ピロティスペース 	

〔導入機能と必要諸室 一覧表〕

No	室名	地域開放	No	室名	地域開放
1 普通教室			3-13	体育館(小)	●
1-1	1年生		3-14	体育館(小) 器具庫	●
1-2	2年生		3-15	武道場	●
1-3	3年生		3-16	防災備蓄倉庫	
1-4	4年生		3-17	メモリアルコーナー	●
1-5	5年生 (HBR)		3-18	地域活動推進室(兼管理人室)	●
1-6	6年生 (HBR)		4 管理スペース		
1-7	7年生 (HBR)		4-1	校長室	
1-8	8年生 (HBR)		4-2	職員室	
1-9	9年生 (HBR)		4-3	職員用更衣室	
1-7	特別支援教室①(前期)		4-4	職員用トイレ	
1-8	特別支援教室②(前期)		4-5	管理人室	
1-9	特別支援教室③(前期)		4-6	保健室	
1-10	特別支援教室④(後期)		4-7	放送室	
1-11	特別支援教室⑤(後期)		4-8	印刷室	
2 教科教室			4-9	会議室	
2-1	音楽室	●	4-10	教材庫・資料室1	
2-2	楽器庫		4-11	教材庫・資料室2	
2-3	図工・技術室	●	4-12	教材庫・資料室3	
2-4	技術準備室		4-13	教材庫・資料室4	
2-5	美術室	図工・技術室、美術室、理科室、家庭科室については同一空間の兼用を検討	4-14	倉庫(複数配置)	
2-6	美術準備室		4-15	書庫	
2-7	理科室		4-17	給湯室	
2-8	理科実験室		4-18	ゴミ倉庫	
2-9	理科準備室		4-19	児童・生徒用玄関	
2-10	家庭科室	●	4-20	職員玄関	
2-11	家庭科準備室		4-21	機械室	
2-12	国語教室		4-22	エレベーター	
2-13	社会科教室		4-23	廊下・階段・手洗流し	
2-14	英語室		5 その他		
2-15	数学教室		5-1	給食室	
2-16	学習ルーム(3室)		5-2	配膳室	
3 共用スペース・屋内運動場			5-3	給食室 休憩室	
3-1	児童会・生徒会室		5-4	放課後児童クラブ	
3-2	多目的ホール		5-5	放課後児童クラブ 事務室	
3-3	相談室(2室)		5-6	放課後児童クラブ トイレ	
3-4	児童・生徒用トイレ		6 屋外教育施設、駐車場等		
3-5	児童・生徒用更衣室		6-1	グラウンド	●
3-6	多目的トイレ		6-2	テニスコート	●
3-7	図書室	●	6-3	ピロティスペース	●
3-8	体育館(大)	●	6-4	部活用用具庫	
3-9	体育準備室		6-5	駐車場	
3-10	体育館(大) 器具庫	●	6-6	遊び場(前期・中期用)	●
3-11	体育館(大) トイレ	●	6-7	駐輪場	
3-12	体育館(大) 更衣室	●			

